

# NEWS 翔

SYOU

2020.04.22  
No.68  
社会福祉法人「翔の会」  
広報誌



2019年10月30日

「茅ヶ崎ベーカリー」が *Open* しました!

障害が重い方々も作業に取り組み、  
高い工賃が得られることを目指しています。

そのために、パン製造設備を多数導入し、工程の軽減化・効率化を図っています。  
菓子パン・惣菜パン・食パン・ソフトフランスパン・カンパーニュ・全粒粉パンなど、  
たくさんの種類を店頭に並べています。

美味しいパンのいろいろ



茅ヶ崎ベーカリーの岩下です。  
オープン以降、地域の皆さんをはじめご家族の皆さんや法人関係者には  
たくさんの温かいご声援をいただき  
有り難うございます。おかげさまで  
利用者と共に充実した日々を送らせて  
いただいております。

ベーカリーでは高い工賃を支給する  
という目標を持って、利用者・職員  
一丸となって働いています。その

中で思うことは、高い賃金だけでは  
なく、自分は仕事を頑張ったのだと  
胸を張って言えるように取り組んで  
欲しいということです。そしてベー  
カリーで頑張った経験が自信とな  
り、いつか歳を重ねた時にその経験  
が財産になると良いなと思います。

まだまだ課題だらけですが、とて  
も良い雰囲気です。楽しいベーカリーで  
す。是非お気軽に遊びに来てください。

店長より



一つ一つ心を込めて

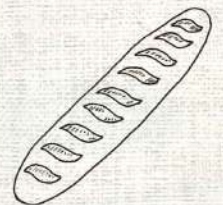
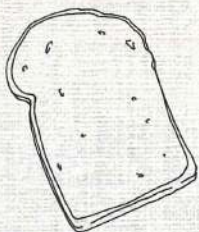
## Shop Information

### 茅ヶ崎ベーカリー

住所: 茅ヶ崎市東海岸北5-15-8  
駐車場あり  
電話: 0467-33-4056  
営業日: 火曜日～金曜日  
営業時間: 11:00-15:00



オープンから毎日忙しく、  
利用者もスタッフもやりがいをもって仕事に取り組んでいます。  
皆様もお近くにお寄りの際は、是非お立ち寄り下さい。





2019年度翔の会  
地域セミナー

2020.02.08. SAT

## 地域でゆるやかに支えあう場をめざして 地域でひきこもりを考える ～一人ひとりがその人らしく生きられるように～

2020年2月8日に地域セミナーを開催しました。

昨年に引き続き『地域でゆるやかに支えあう場をめざして』地域でひきこもりを考える～一人ひとりがその人らしく生きられるように～とのタイトルで、一般社団法人ひきこもりUX会議代表理事の林恭子さんをお招きし、ご講演いただきました。

昨年の地域セミナー後に「同じテーマで

もう1度開催してほしい」との地域の皆様からの要望に応える形となりました。

林さんからの体験者としての話は当事者でなければ分からない感情の動きなど大変興味深い内容でした。また、「本人が安心できて、エネルギーをためられる居場所や関係作りの大切さ」など引きこもり支援に関する話もありました。



## 会場のみなさまの声 -Participants' Reflections-

当日は、108名の方にお越しいただき、あらためてこのテーマへの地域の皆様の関心の高さを感じました。

当事者の本当の思いや辛さが分かった

当事者の親として子どもとの接し方が分からず悩んでいたが一番悩んでいるのは子ども自身だと気付かされた

当事者が安心して、温かく居心地の良い家族にしたい



ご来場頂いた皆様、ありがとうございました。

# トネリコのだいしゅうごう

～おしょうが2 (ツー) スペシャル～

2020年1月17日～22日に、ちがさきのA・UN隣の古民家で、STUDIOトネリコ展覧会を行いました。



題して「トネリコのだいしゅうごう ～おしょうが2 (ツー) スペシャル～」このタイトルは、とある利用者の発言を元にスタッフで話し合い決めました。STUDIOトネリコは、利用者自身の個性、その人ならではの佇まいや時間の過ごし方を尊重しています。この展覧会も、普段のトネリコらしさが反映された、ゆるやかで居心地の良い会場が作れるよう企画しました。

展覧会場は囲炉裏や縁側がある平屋作りの古民家です。そこに作り貯めてきた大きな壺やお

皿、雛人形や絵画を飾ると、まるで最初からそこにあったかのように調和し、作品もお部屋のなかもぐっと魅力的に見えました。

作品を見てもらうことは勿論、囲炉裏を囲んでおやつを食べながら談笑したり、お買いものを楽しんでくださったりと、訪れた人が自然に楽しみを見出してくれる場所が作れたのではないかと思います。また、ポスティングに行ったらすぐにご近所の方が遊びにきて下さって、感謝の声も頂けました。

製品、作品の提供にご協力をいただいた各事業所の皆様、ご来場くださった皆様、本当にありがとうございました。



ダンボールをみんなでちぎって重ねました。鳥の巣のようなオブジェに入ると不思議と心が落ち着きます。

# 翔の会 の研修

翔の会では入職した職員の研修を定期的に行っています。



## 人権研修

全職員を対象とした人権研修が2019年10月、11月に4回に分けて行われました。今回も顧問弁護士の内嶋先生と相談して内容を決めました。人権研修（権利擁護）の話になると、5つの行為類型の話や不適切な利用者支援の内容などを話し合う機会が多いですが、今回は「日頃の支援が権利擁護につながっているよね」というテーマでグループワークを行いました。日頃の支援の中で「利用者の方との目線でお話をする」「手のつなぎ方に気を付けている」など、日常の支援がとても大切で、職員一人一人が大事にしている事、支援をしている時に嬉しかった事などをみんなで深め合っていく事が権利擁護につながると考えました。

当日は、障害、高齢、児童の支援スタッフが、ごちゃまぜとなり話し合いました。日頃大切に思っている支援の話や、利用者の支援をしている時にとても楽しい気持ちになった瞬間、嬉しい気持ちになった瞬間、心が通じ合えた瞬間についてのエピソードを職員同士共有して、とても盛り上がり、笑顔の絶えない研修となりました。これからもこの研修が、利用者ファーストの支援に結び付けられるように取り組んでいきたいと思えます。



## 中堅職員研修

普段、職場の中核として働いている職員を対象に「おやつ作り研修」を行いました。

【入居者さんの疾病に合わせたおやつを、主体的に役割を果たしながら、互いに協力しあって楽しく美味しくお菓子を作る】を主な目的としています。

疾病や生活歴の資料を基に、どんなおやつを作るかの相談を行い、出来上りの絵を描き発表してもらいました。初めての試みでしたが、堅苦しくないリラックスした雰囲気の中で行えました。

次に実際に「牛乳もち」を作り、入居者の皆さんに食べて頂きました。

参加した職員からは「役割分担をすることが



でき、チームワークの向上につながった」「他事業所との交流する機会があり、有意義な時間を過ごす事が出来た」「なぜおやつ作りなのだろう？と思ったものの、内容的にはグループワークという形であり楽しかった」という声がありました。

今後もまた楽しく学ぶことができる研修を行っていきます。



## 2-3年

### 2-3年目研修

この研修は、【自分の仕事を振り返り、意欲を持って仕事出来るように、自分の向かう方向性を見出すこと】を主な目的としており、入職以降なかなか会えない他の事業所の同期職員が集まって行ないます。

テーマは毎年異なり、今年は「障害体験」をしました。ちがさきA・UNから柳島キャンプ場までの約3kmの道のりを目隠しやイヤーマフ、重りをつけて歩き、また車椅子に座り介助で押してもらいました。その後、キャンプ場ではバーベキュー交流会を行いました。

参加した職員からは「段差の不安や、見えない、聞こえないといった利用者の不安がわかった」「普段、会うことのない他事業所や同期の職員と仕事やプライベートの話をする機会があつて楽しかった」といった声を頂きました。

今後も、楽しく研修できる企画を考え、職員の意欲向上に努めていきたいと思えます。



## 新入社員

### 社会福祉法人翔の会 2020年度採用内定式

2019年10月3日、茅ヶ崎市のラスカホールで「2020年度採用内定式」を行ないました。この時点での内定者数は男性4名、女性8名。遠くは青森や北海道からの参加者もいました。

内定式では内定証書授与、そして一人ひとり自己紹介をしました。色々な事業を経験したい、相談職をしたい等、様々な目標を発表しました。慣れないスーツ姿で緊張した面持ちで始まった内定式も、自己紹介が終わるころには笑顔が見られました。午後に行なった懇親会では、入道雲やトネリコの利用者の演目であるパブリカを内定者の皆さんも一緒に踊り、会場全体が一つ

welcome to

syonokai



になり、和やかな雰囲気でした。

これから一緒に働いていく仲間としてのチームワークが体験できた内定式となりました。

togetherness



鬼だぞー!



## 節分のお手伝いに行きました

節分の日、おじいちゃんおばあちゃんがいる特別養護老人ホームゆるりに、鬼がやってくるということで、うーたん保育園の子ども達は豆まきのお手伝いに行きました。鬼に投げる豆の代わりに新聞紙で出来た豆を持って、おばあちゃん達がいるお部屋へ向かいます。

おばあちゃん達のお部屋に着くとまだ鬼は来ていません。子ども達は新聞紙豆を両手に持って、おばあちゃん達にも新聞紙豆を渡して、鬼と戦う準備は万端です。鬼が来るのを待っているとAちゃんが「怖くなってきた…」と泣きそうな顔。隣にいたおばあちゃんが「大丈夫だよ。鬼がきたらおばあちゃんがこれで作ってやる!」と新聞紙豆を見せて、にやり。それを見ていたBちゃんは「おばあちゃん強いね」とびっくりしていました。

鬼が来ました。子ども達は「オニがきたー!」と一斉に鬼に新聞紙豆を投げつけます。鬼が近づいてくると全力で逃げ、また新聞紙豆を持って向かって行きます。いつもは静かなゆるりの部屋が大騒ぎです。鬼と子ども達の迫力にびっくりするおじいちゃん。真剣な子ども達を見て思わず笑顔になるおばあちゃん。

鬼が帰っていくと、子ども達はお土産の甘納豆をおばあちゃん達に手渡して「ばいばい、またくるねー!」と手を振って帰ってきました。おばあちゃんから「ありがとう」と頭を撫でられて、ちょっと恥ずかしそうにはにかむ子、おばあちゃんが喜んでくれたのが嬉しくて、「もう一個あげたい!」という子もいました。

おじいちゃんおばあちゃん達も子ども達も楽しくて笑顔になれる、素敵な交流だったなあと思います。

## ぞうきん贈呈式



3月10日、特別養護老人ホームゆるりの入居者からうーたん保育園の卒園児へ、卒園祝いの手縫い雑巾を贈呈しました。ゆるりでは日中活動の中に裁縫クラブがあります。普段、あまり活動的でない方も「お裁縫なら得意だわ」と取り組んでいただける方もいらっしゃいます。普段の交流会で園児から沢山活力をもらっているお返しとして、入居者の皆さんの出来ることを生かしたお礼ができないかと考え、裁縫クラブで雑巾を作成しプレゼントすることにしました。

園児達を見守るおじいちゃんおばあちゃん達の笑顔も素敵ですが、雑巾の贈呈という形で門出にエール送ることができ、新たな交流のあり方ができたのではないかと思います。

# 2020

## 障害者支援施設

# 水 平 線

# 新 年 会

2017年から水平線のイベントとして12月の末に忘年会を行っています。今回は、2020年新春に新年会という形で行いました。

利用者アンケートから、出前のピザやお寿司を注文したり、チキンやお菓子、ジュースにお酒と取り揃え、満足のいくまで召し上がって頂きました。

また、茅ヶ崎のイタリアンレストラン「La sala YAGI」の八木さんに、パスタやリゾット、翔の会の事業所（サンゴ食堂）にからあげ等お店の料理も振る舞っていただき、地域の方とも交流することができ賑

やかな会となりました。

今年で3回目のこのイベント。毎回当日は慌しく、ハブニング等もありますが、回を重ねるごとに良くなっており、今では水平線の定番のイベントになっています。

美味しい料理と美味しいお酒やジュースを楽しまれ、笑顔の中、大成功で終わることが出来ました。これからもこうしたイベントを大事にして、利用者の期待に応えられるよう、水平線全体で協力して臨んでいきたいと思っています。

## Chigasaki Bakery

# 助 成 金

この度、日本財団より、茅ヶ崎市東海岸北5-15-8に開所した茅ヶ崎ベーカリー(生活介護)に、ベーカリー機器一式が助成されました。

重度障害者に対する高水準の工賃支払いをめざすモデル拠点として、作業の負担を軽減したり、効率化する機器が導入されました。

右記のとおり、事業が完了されたことを報告させていただきますとともに、厚く御礼を申し上げます。

＼ありがとうございました！／



事業名:日本財団はたらく障害者プロジェクト  
事業内容:ベーカリー機器の助成  
助成金額:15,890,000円  
実施場所:茅ヶ崎ベーカリー(生活介護)

# 後援会より

## 会長の挨拶

春暖の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

元号が令和になり初めての新年度を迎えました。新元号の意味で、  
「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という発表があったように、  
後援会も心を寄せ合って、日々の活動をしていきたいと思いをします。

誰もが地域で暮らせるために、利用者・スタッフ、そして、後援会が、心を寄せ合って、  
地域でこれからも活躍できることを祈念して、新年度の挨拶に代えさせていただきます。

今後、春の市民祭りの中止のように、翔の会後援会の活動やイベントにも  
新型コロナウイルスの影響がありますが、このような時こそ、翔の会を支えて行きたいと思いをします。  
更なるご協力の程よろしくお願い申し上げます。

後援会長 小谷 勲

## 翔の会後援会とは？

『誰もが地域で暮らせるために』  
の理念のもと、幅広い  
事業展開をしている  
「社会福祉法人翔の会」の  
活動を支援するために  
生まれました。  
後援会では、この主旨に  
賛同頂ける多くの方々が集い、  
イベントやバザーに  
参加して収益活動をしています。  
施設でのボランティア活動の  
活性にも努めています。

## 会員になるには？

入会申込書に記入して会費の納入をお願いします。  
「空と海」(茅ヶ崎市芹沢786)の  
後援会事務担当者に直接渡していただくか、  
郵便口座(00220-2-75228)へ払い込み下さい。

個人会員	(年額)	1口	3,000円	1口以上
法人会員	(年額)	1口	30,000円	1口以上
利用者本人会員	(年額)	1口	5,000円	1口以上
利用者家族会員	(年額)	1口	5,000円	1口以上

詳しくは  
後援会事務局 「空と海」 海野・塚原まで

TEL 0467-54-5424  
FAX 0467-54-5498

## 編集後記

その年々の流行語。年末になってから一年を振り返るのも楽しいですが、年始のうちから「これは今年の流行語になるのでは？」と想像しながらニュースを見るのも楽しいものです。

高校生の頃、言葉の頭文字をとって略す言い方が流行りました。クラスの中で突如みんな口にする『空気読めない』を略

した「KY」。「あいつマジKYだわー」意味がわからず、実はクラスの中で遠まわしに自分はいじめられているのではないかと不安になったり……。

編集後記の最後に書いた人のイニシャルが書いてあることを目にして、そんなことを思い出した空気読めない私でした。(K.Y)